

図書館だより

3月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	16	17	18	19	20
⑳	㉑	㉒	23	24	25	26
27	28	㉑	30	㉓		

○印 休館日
月曜日・祝日(21日)
月末館内整理日(31日)

今月の新刊図書案内

一般図書

徹底活用「オンライン書店」の誘惑
本日はタカなのにヒヨコだと
思っているあなたへ
ファウスト・マナーラ
寺子屋式古文書手習い 吉田 豊
歴史は患者でつくられる
リチャード・ゴードン
日本百名山登山案内 山と溪谷社



『時計はとまらない』

フィリップ・ブルマン 作
西田紀子 訳 備成社
「…悪魔…」の一言を聞くと、ゼンマイ仕掛けの騎士は首をたてて剣を振り上げた。冬の夜、恐怖物語に聞き入っていた人々の前に、突然物語の人物が現れ…。カーネギー賞受賞作家が織りあげた不思議な物語世界。



『接続された心』

インターネット時代のアイデンティティ
シェリー・タークル 著
日暮雅通 訳 早川書房
人種、国家を超えて何千万人も
の人間を結び付ける新たな空間、
インターネット。そこに集う人々の
生活様式、社会認識、自己認識
のあり方など、変わりゆく心のか
たちを分析したレポート。

接続された心



核のボタンに手をかけた男たち

江坂 彰

こんなにもチャンスがある日本

野村 進

アジア新しい物語

手塚和彰

国の福祉にどこまで頼れるか

西山 明

少年漂流記

森本行雄

手話で歌の心を表現しよう

増田辰樹

拳の文化史

大原健士郎

夜空の美術館

村松 秀

やる気の出る人、出ない人

磯淵 猛

生殖に何が起きているか

小池恭子

クロス・ステッチ

能狂言鑑賞ガイド

塚本新治

金の芽

心のもつた絵手紙

チャレンジレディーズテニス

外二四冊

湖沼・河川のルアー釣り

野口玄一郎

文章教室

八木義徳

冬樹々のいのち

柳沢桂子

走るジイサン

池永 陽

島津奔る 上・下巻

池宮彰一郎

偽薬

江波戸哲夫

ヤンのいた島

沢村 凜

ずんが島漂流記

権名 誠

エイジ

重松 清

五女夏音

辻 仁成

元祿繚乱 上

中島丈博

疾走する家族

福本武久

オルガニスト

山之口洋

ひかりと愛といのち

三浦綾子

話せるヒント

山川静夫

消えた弟

マネット・アンセイ

偶然の音楽 ポール・オースター

ヴァインランド

トマス・ピンチョン

シャロック・ホームズ

J・ソアレス

天才連続殺人事件

外二四冊

児童図書

ここが世界の中心です
小学生の大疑問100 パート2
どうしたらへらせるか
この有害なダイオキシンの
絵てがみだいすき
迷路ゲーム・ブック世界地図
のらネコの子守歌
きょうは母子ゲンカの日
パパが金魚になっちゃった！
そらにはいっぱいイギリス詩集
ピカピカ
しようぼう馬のマックス
ママおやすみ
外九四冊

心の健康シリーズ(71)

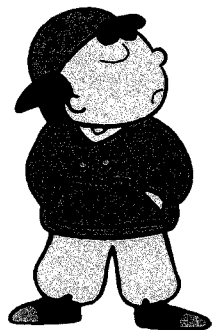
「子どもだから」では
すまされぬマナー
欠如に「叱る勇氣」を

少子化の中にあつて、子どもも過度に大切にされるあまり、最近特に自由奔放で、マナーもきまりもわきまえない行為が目につくことがあります。

中にはアイスやパン、ハンバーガーなどを歩きながら食べ、その後の容器や袋を道路やその辺に捨てる。こうしたことが平気で気にならないところに問題があります。お隣の国、中国では一人っ子政策の結果、度を越した親の甘やかしによって「小皇帝」と呼ばれる子どもたちの出現が社会的問題になっていると聞いて、日本の現状はどうでしょうか。

幼稚園児や保育園児の中でも人の使っている遊具をむりやり取って泣かせたり、楽しく遊んでいる子の邪魔をして、おもしろがっているわがままな子を見かけますし、夏休みのような長期の休みに家族で旅行などすると、嬉しさのあまり周囲に対する気づかいなどまったくなく、特に列車などで行くと、せまい座席の中をいったり来たり、大声を出し、ゴミは散らかし、他人に迷惑のかけほうだいの子どもを見かけることがあります。

しかし、そこで他人がいるからとあいまいにしておくと同じことの繰り返しです。



ひどい例になると、自分の子どもが他人に注意されると迷惑顔の親もいます。しつけの大切さを認識してほしいものです。他人に迷惑をかけないように教えるのは親の役目です。

電車に乗るとよく見かける光景ですがホームにいる子どもの団体を見たとき隣の車輛へ移って行く人がいますが、だれしも子どもが周囲がまわぬ不作法から逃避したい気持ちがあるからでしょう。

このようなマナーはその時、その場できちんと教えないといけないのですが、しかし、日本の親は周囲の人を気にしてか、きちんと叱るなり、教えることができないようです。

子どもにマナーの心得がつくか否かは、親がきちんと叱ったり、教えられるかにかかっているのです。自分の子を叱るのに遠慮は無用です。

「叱れない、叱らない」親の態度は、子どもの円滑な人間関係を阻害しかねません。

子どもの悩みとは

教育相談室へ

(八朔屋台展示前庫前)

月々金 午前8時30分
午後4時30分
☎(43) 1323